

2023年6月16日現在

東京大学経営協議会学外委員の選考理由

氏 名：今村 久美（いまむら くみ）

現 職：認定特定非営利活動法人カタリバ代表理事

略 歴：2001年11月 任意団体カタリバ設立
2006年 9月 特定非営利活動法人カタリバ代表理事
2013年 6月 認定特定非営利活動法人カタリバ代表理事
2014年10月 公益社団法人ハタチ基金代表理事
2017年 3月 一般社団法人地域・教育魅力化プラットフォーム理事

経営協議会委員の在任年数：0年

本学との関係（総長、理事等、常勤教職員の経験）：該当なし

【選考理由】

今村 久美 氏は、高校生のための実践型探究学習出張プログラムなどの教育支援事業をおこなうカタリバの設立者である。同氏は、大学在学中、育った環境によって学びの機会やその後のキャリアに格差が生まれているのではないかという視点から、どのような環境に生まれ育っても、すべての子どもたちが意欲と創造性を育める社会の実現をミッションに、2001年にカタリバを設立した。設立以来、大学生や社会人との対話や出会いの場を提供する「出張事業カタリ場」プログラムや学校に行くことができない児童生徒とその家族、不登校支援に取り組む行政・学校を対象としたオンライン不登校支援プログラムなど、学校・地域・行政と連携しながら、10代の可能性を広げるさまざまなサービス・プロジェクトを提供している。2022年にはカタリバが運営する b-lab と本学情報学環・学際情報学府が連携して「まれびとプロジェクト」を立ち上げ、本学の研究者や大学院生が研究を通して中高生に価値を提供すること、本学と近隣地域のつながりを作ることに貢献いただいている。また、東日本大震災で大きく被災した地域の子どもたちへの支援として助成事業等をおこなう公益社団法人ハタチ基金の代表理事、教育を軸とした地域活性化事業をおこなう一般社団法人地域・教育魅力化プラネットフォーム理事のほか、中央教育審議会委員も務めるなど、幅広く意見交換、議論を重ねてきた経験も有している。

以上のように、その経歴から、同氏が経営に関する専門的知見など高い識見を有し、大学法人の経営に広く社会の多様な意見を反映させられるよう意見を述べるとともに、必要な助言を与えられること、本学の理念と目標を共有し、「世界の公共性に奉仕する大学」を目指し、その実現に貢献できること、及び本学と社会のステークホルダーの双方向的な連携を推進し、互いに共通する公共的な利益を追求できるよう尽力する意思を有することが認められる。すなわち、「東京大学経営協議会の学外委員の選考方針等について（令和3年3月18日 役員会決定）」に定める選考方針各号に掲げる事項を全て満たしていると判断できる。